

お寺、そして地域の 復興に向けた取組について



真言宗豊山派大楽院
住職 酒主秀寛





- ・平成23年3月11日 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生
大津波警報発令
- ・平成23年3月12日 避難指示
- ・平成23年3月13日 群馬県実相寺へ避難
- ・平成24年2月2日 大楽院別院(仮事務所・いわき市)へ移動
- ・平成24年8月10日 避難指示解除準備区域へ再編
- ・平成27年9月5日 避難指示解除
- ・平成27年9月5日 本院にて法務再開





音楽イベント「楽唱」

キーワード

- ①安心感
- ②自分ができることをする
- ③敷居を低くする
- ④自分たちが楽しむ



寺ヨガ

おてらワークショップ



護摩供



現在 力を入れていること。。。



現状及び 復興に向けた取組について

現状

- ・避難先からの檀家の帰還率は6割程度
- ・寺世話人の役割が機能せず、寺報配布や護寺費の集金などは全て郵送対応となる
- ・震災から10年以上が経過し、避難先に定住を決めたことなどにより、離檀や墓じまいの相談が増加

取り組み

- ・本山団参は、定期的に実施
- ・四国八十八ヶ所霊場お遍路ルートの整備
図書館・遊具整備
- ・福島県いわき市の別院(仮事務所)は当面維持し、本院との連絡体制を確保
- ▶未だ避難指示が継続中の寺院への協力態勢を整える



▶おてらおやつクラブサポート寺院として活動

▶おてらワークショップの開催

▶地域づくり団体や行政等との協働

▶SNSでの情報発信

▶様々な事業展開により、今後の寺院存続のための方策を探る